

# 日野原市 移住ガイドブック

日々に、まなざしを。  
暮らしを見つめなおすまちへ。



日野原市東部・白峰地区から望む房総丘陵の棚田風景（市企画政策課 撮影）

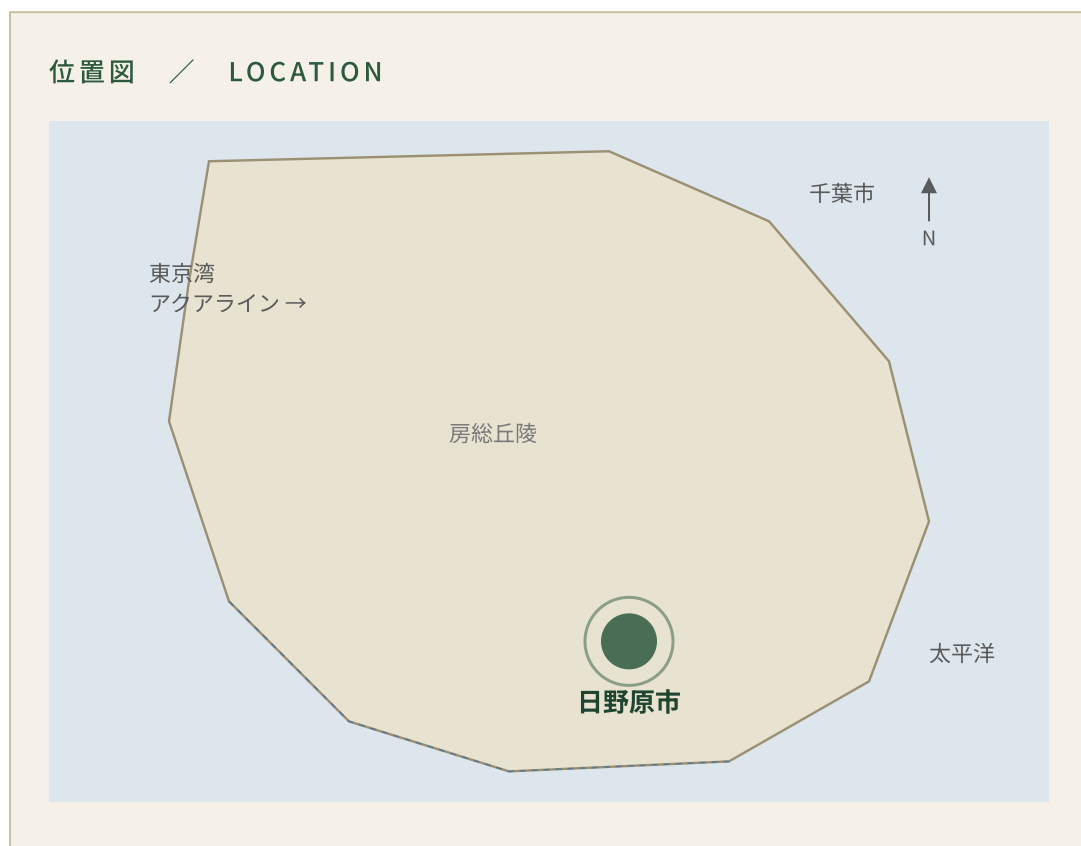
## CONTENTS / 本書のご案内

1. 日野原市とは
2. 日野原市の暮らしの特徴
3. 住まいを探す
4. 子育て・教育
5. 仕事・働き方
6. 移住支援制度
7. 移住までの流れ
8. よくあるご質問
9. お問い合わせ

令和8年度版（2026年6月発行）

# 千葉県南部・房総丘陵に抱かれた 人口およそ4万人の小さなまち

日野原市は、千葉県南部の房総丘陵の麓に位置する人口約4万2千人のまちです。  
東京湾アクアラインの開通以降、首都圏とのアクセスが向上する一方で、  
里山と海、田畑、そして長く続いてきた地域コミュニティが今も身近にあります。



## 市の概要 / CITY DATA

所在	千葉県南部
市制施行	平成18年（2006年）
面積	XXXXXX 平方キロメートル
総人口	42,378 人
男性 / 女性	20,742 人 / 21,636 人
世帯数	17,901 世帯
市の木 / 市の花	XXXXXX / XXXXXX
市役所所在地	日野原市本庁舎 千葉県日野原市XXXXXX

※ 人口・世帯数は令和8年5月1日現在（住民基本台帳）

## 東京圏からのアクセス

CAR / お車で

約 90 分

東京駅 / 川崎方面より  
東京湾アクアライン経由

TRAIN / 鉄道で

約 100 分

東京駅より JR内房線  
特急利用時 約80分

BUS / 高速バスで

約 95 分

東京駅・横浜駅より  
高速バス直通便あり

## 日野原市の特徴

### 海と里山が近い

市の北西部は内房の海岸に面し、南東部には房総丘陵の里山が広がります。市役所周辺を中心部から海岸まで車で約15分、里山地区へは約20分で到達できます。

### 生活インフラの基盤

JR内房線の駅、総合病院、大型スーパー、認定こども園・小中学校・高校が市内に揃っています。日常の買い物・通院は市内で完結できます。

### 第一次産業の歴史

びわ・落花生・米の生産が古くから盛んです。市内の農業従事者は約1,400人で、近年は若手の新規就農者・半農半X世帯の移住も増えています。

### 地域コミュニティ

市内には28の自治会・町内会があり、防災・お祭り・農作業などを通じて地域のつながりが残っています。「ほどよく関わり、ほどよく見守る」関係性を大切にしています。



日野原市西部・浜坂地区の海岸線（市企画政策課 撮影）

# ほどよい自然と、ほどよい暮らしの距離感を大切にしています。

日野原市は「完全な田舎暮らし」ではなく、生活圏の利便性を保ちながら自然のそばで暮らせるまちです。ここでは、移住される皆さまに知っておいていただきたい暮らしの実感を、5つの視点でご紹介します。



市中央部・中野原町の住宅地。徒歩圏にスーパー・郵便局が立地

## 01 ほどよい自然

玄関先からの里山、車で15分の海岸線、棚田や落花生畑など、日常のなかで自然を感じられます。一方で市の中心部には住宅街と商店街があり、生活に必要な距離感は確保されています。

## 02 生活圏の利便性

市内に総合病院1か所、診療所14か所、大型スーパー3店舗、ホームセンター・ドラッグストアが揃います。JR内房線・日野原駅周辺には金融機関・飲食店も集約されています。

## 03 子育て環境

認定こども園4園、市立保育所2か所、小学校7校、中学校4校。少人数学級が多く、自然体験を学校行事に組み込んだ教育が特徴です。

## 04 地域とのつながり

自治会・町内会、消防団、子ども会など地域組織が機能しています。回覧板や地域行事への参加は任意ですが、関わりを持つことで暮らしが安心になるという声が多いです。

## 05 医療・健康

日野原市民総合病院（XXX床）を中心に、内科・小児科・歯科の診療所が市内各地区に配置されています。夜間休日は近隣市の救急医療と連携。

## 数字で見る、日野原市の暮らし

市役所まで車で

**15分以内**

市内全域からの平均所要時間

小・中学校1校あたり

**約 230人**

少人数で目の届きやすい学習環境（市平均）

直近5年間の移住世帯

**316世帯**

市外からの転入で定住に至った世帯数

空き家バンク登録

**42件**

令和8年5月末時点（売却・賃貸 合計）

## 移住前に知っておいていただきたいこと

### ■ 自動車の利用が前提となります

市の中心部以外の地区では、買い物・通勤・通院ともに自家用車の利用が前提となります。世帯で2台所有されているご家庭も少なくありません。市内には路線バスが運行していますが、本数は限られます。

### ■ 雪はほとんど降りませんが、冬の朝は冷え込みます

温暖な太平洋側気候で積雪はほぼありませんが、内陸の山間部では1月～2月の早朝に氷点下となる日もあります。古民家を改修される場合は断熱の検討をおすすめします。

### ■ 地域行事への参加は任意ですが

回覧板、清掃活動、地域のお祭りなどは参加・不参加とも自由です。ただし、自治会への加入は防災・ごみ集積所の運営にも関わるため、加入をおすすめしています（年会費 3,000～6,000円程度）。

### ■ 仕事は事前準備をおすすめします

市内・近隣市の求人は一定数ありますが、東京圏と比較すると業種・年収帯ともに限られます。リモートワーク継続、または転職活動を移住前に進められると安心です。

# 空き家バンク、賃貸、古民家。 4つの選択肢があります。



市内・東部地区の改修後の古民家。空き家バンク登録物件の一例

日野原市の住まいの選択肢は、大きく4つに分かれます。

市の中心部に近い住宅地での賃貸・中古住宅、農地に近い里山地区での一戸建てや古民家、そして移住前にお試しいただける短期滞在制度です。

市内の住宅相場は、首都圏と比較して取得・賃借ともに低めの水準です。一方で、古民家など築年数の古い物件は改修費を見込む必要があり、移住相談窓口で個別にご相談ください。

※ 下記の家賃・価格相場は令和8年5月時点の市内仲介事業者の参考値です。物件により大きく異なりますので、目安としてご覧ください。

## 4つの住まいの選択肢

### 01 空き家バンク

市が運営する空き家情報の登録制度です。市内で活用されていない一戸建て住宅・古民家を、売却・賃貸の希望条件とともに掲載しています。市の移住定住推進係を通じて、所有者・仲介事業者にお取り次ぎします。

登録件数	42件（売却27 / 賃貸15）
価格帯（売却）	280万円～1,400万円
家賃帯（賃貸）	3.5万円～7.8万円

### 02 民間の賃貸・中古住宅

市内には13の不動産仲介事業者があり、アパート・マンション・戸建ての賃貸物件、中古住宅を取り扱っています。市役所周辺・日野原駅周辺で物件数が多く、生活利便性を重視される方に向いています。

家賃相場（2DK）	5.2万円～7.5万円
家賃相場（戸建）	6.8万円～10.5万円
中古戸建相場	680万円～2,400万円

### 03 古民家改修

日野原市東部の里山地区を中心に、築50年以上の古民家が点在しています。母屋・離れ・倉などを活かして暮らす移住者の事例も増えています。市の空き家改修補助金（最大100万円）の対象となる場合があります。

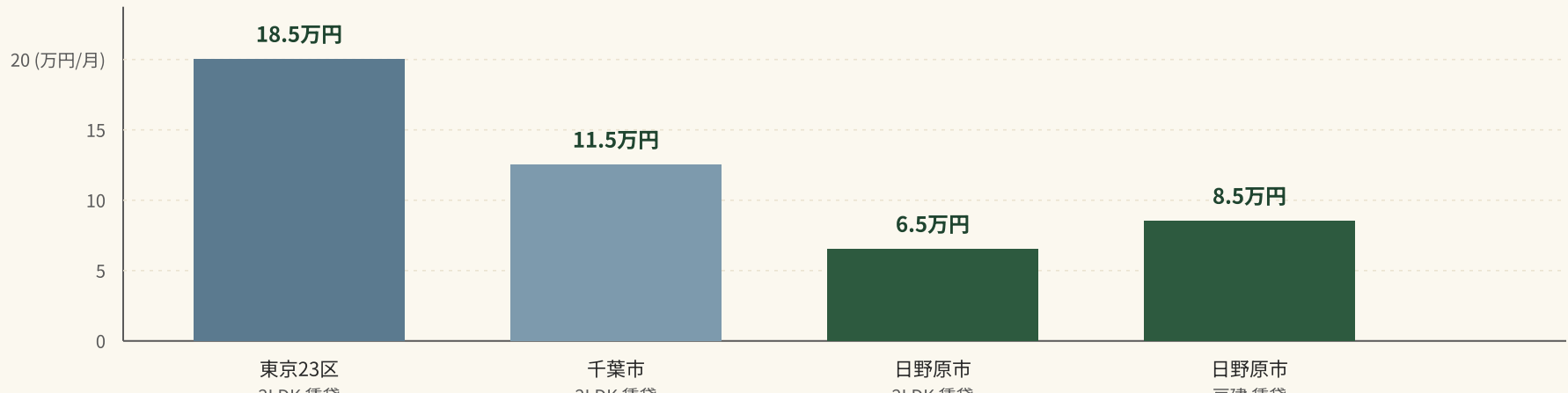
改修費の目安	350万円～1,200万円
主な工事内容	屋根・水回り・断熱
市内対応事業者	9社（登録工務店）

### 04 お試し滞在住宅

市が運営する移住検討者向けの短期滞在住宅です。市東部・白峰地区に2棟、中心部に1棟、計3棟を整備しています。実際の暮らしを体験いただき、住まい探し・仕事・地域の雰囲気を確認できます。

利用期間	最短2泊3日～最長28日
利用料金	1泊 2,000円（光熱費込）
対象	移住相談を行った方

## 住居費の比較イメージ（参考）



出典：市内仲介事業者調査（令和8年5月）／東京23区・千葉市は公的住宅統計の平均値を参考にした概算

# 少人数学級と、自然のなかでの体験を活かした学びを。

日野原市の子育て・教育環境は、地域全体で子どもを見守る土壌と、棚田・海・里山という体験のフィールドが特徴です。市内の保育・教育施設は徒歩・自転車・スクールバスで通える距離に配置されています。

## 市内の保育・教育施設

区分	市内施設数	受入年齢・対象	特徴
市立保育所	2か所	生後6か月～就学前	一時預かり、延長保育に対応
認定こども園	4園	0歳～就学前	2号・3号認定可、給食室併設
市立小学校	7校	6～12歳	5校で複式学級・少人数学級を採用
市立中学校	4校	13～15歳	全校で部活動・ICT端末配備
高等学校	1校（県立）	15～18歳	普通科・農業科を設置



日野原市立南部小学校（市南部・浜坂地区）。1学年あたり概ね2クラス

### 子育て世帯への主な支援

#### こども医療費助成

0歳～高校3年生相当まで自己負担なし（所得制限なし）

#### 出産・子育て応援給付金

妊娠届出時 5万円／出生時 5万円（国制度）

#### 第3子以降 保育料無償化

市独自で第3子以降の保育料を完全無償化（年齢問わず）

#### 学校給食費の補助

小中学校の給食費 月額2,000円を市が負担

#### 放課後子どもクラブ

市内全7小学校区で実施。利用料 月額4,500円

## 自然体験・地域行事

日野原市の子どもたちは、学校行事のなかで里山・海・農地に触れる機会を持っています。

地域の農家・漁協・消防団・自治会と連携した「地域の先生」が、学校の授業や課外活動に関わっています。

SPRING / 5月

### びわ収穫体験

小学3～4年生対象。市内農家の畑で収穫・選果を体験します。

SUMMER / 8月

### 夏の里山キャンプ

小学5年生～中学生対象。1泊2日の自然体験と防災学習。

AUTUMN / 10月

### 稲刈り・落花生掘り

全小学校で実施。地域農家との合同授業として位置づけ。

YEAR-ROUND / 通年

### 子ども図書館まつり

市立中央図書館で読み聞かせ・工作などを月1回開催。

YEAR-ROUND / 通年

### 子育てひろば

市内3か所で就学前の親子の交流・育児相談を実施。

JUNE / 6月

### 日野原やまびこ祭り

市内最大の市民祭り。家族で参加できる出店・神輿があります。

# リモートワーク、農業、地域事業。 働き方は、いくつもあります。

日野原市で暮らす方の働き方は、移住をきっかけに変わる場合と、これまでの仕事を続ける場合があります。  
市内の事業者・農業者・観光事業者と、首都圏のリモートワーカーの両方が共存しているまちです。



市西部・浜坂地区のびわ直売所。市内全域に12か所の直売所が点在

## 市内産業の構成（就業者ベース）

第一次産業（農林漁業）	12.4%
第二次産業（建設・製造）	22.8%
第三次産業（卸小売・サービス）	64.8%

※ 令和2年国勢調査をもとに市が集計（就業者総数 19,842人）

※ 第三次産業のうち、医療・福祉が約26%、卸売・小売が約16%を占めます

## 日野原市での働き方

### A リモートワークの継続

市内全域で光ファイバー回線が整備されており、首都圏の企業に勤めながら市内に居住される方が増えています。市内2か所のシェアオフィス（中央公民館・白峰交流館）も月額利用可能（月8,000円〜）。

### B 農業・新規就農

びわ・落花生・米作を中心とした市内農家での研修制度があります。市・JA・農業委員会が連携した「日野原みらい農業塾」では、年間20名程度の新規就農希望者を受け入れています。

### C 市内事業者への就業

市内には製造業（食品加工・電子部品）、医療・福祉、観光・宿泊、建設業など多様な事業者があります。ハローワーク君津管内で常時約480件の求人が掲載されています（令和8年4月時点）。

### D 起業・副業・複業

古民家カフェ、農家民宿、Webデザイン、地域コーディネーターなど、移住者による小規模起業が市内で生まれています。市の創業支援補助金（最大50万円）・千葉県信用保証協会との連携制度があります。

## 移住された方の働き方（参考）

### CASE 01

#### Aさん（38歳・男性）

東京都世田谷区より移住（令和6年）

前職のIT企業をリモートワークで継続。妻と子ども2人で中央地区の中古戸建てに居住。週1回のオフィス出社時は高速バスを利用。

仕事  
IT企業勤務（フルリモート）

通勤頻度  
週1回（バス通勤）

### CASE 02

#### Bさん（45歳・女性）

神奈川県横浜市より移住（令和5年）

市東部の古民家を改修し、夫婦2人で農家民宿を開業。びわ収穫期は近隣農家の作業も手伝う「半農半宿」のスタイル。

仕事  
農家民宿の運営

活用した制度  
空き家改修補助・創業支援

### CASE 03

#### Cさん（32歳・男性）

埼玉県さいたま市より移住（令和7年）

日野原みらい農業塾の研修を経て、市西部で就農。米作と落花生を中心に、市内直売所への出荷からはじめる。

仕事  
新規就農（独立）

活用した制度  
農業塾・移住支援金

# 移住の検討から定住まで、 必要な場面で使える支援制度。

日野原市では、国・千葉県の制度に加えて、市独自の移住支援制度を整えています。

下記は主な制度の概要です。要件・申請方法の詳細は市移住相談窓口までお問い合わせください。

わくわく千葉生活実現事業

## 移住支援金

東京圏（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉の一部）から日野原市に移住し、所定の要件を満たす方に対して支給します。

支給額

# 100

 万円 （世帯）
   

# 60

 万円 （単身）
   
※ 18歳未満の世帯員1人につき最大100万円を加算

### 支給の主な要件（すべてを満たす必要があります）

移住元	直近10年間のうち通算5年以上、東京23区に在住または東京圏から東京23区へ通勤していたこと
就業要件	千葉県の移住支援金マッチング求人企業に就業、または県認定のテレワーク・専門人材として継続就業、または市内で起業
居住要件	転入後3か月以上1年以内に申請し、申請後5年以上市内に継続居住する意思があること
その他	過去に類似の移住支援金（国・県・他自治体）の交付を受けていないこと等

## 市独自の支援制度

### 空き家改修補助金 住まい

市の空き家バンク登録物件を取得・賃借し、市内事業者により改修工事を行う方に対し、改修費用の1/2（上限100万円）を補助します。耐震・水回り・断熱が主な対象。

---

補助上限 **100万円（補助率1/2）**

### 子育て世帯定住支援金 子育て

18歳未満の子どもを扶養する世帯が市外から転入し、市内に住宅を取得した場合に支給します。子ども1人につき10万円を加算（最大3人まで）。

---

支援額 **基本20万円 + 子ども1人につき10万円**

### お試し滞在助成 体験

市のお試し滞在住宅を利用した方に、利用料の一部および移動費の一部を助成します（年度内1回まで）。

---

助成上限 **2万円 / 世帯**

### 創業支援補助金 仕事

移住後5年以内に市内で創業する方に対し、事業所開設費用の一部を補助します。商工会の経営指導員のサポートを受けることが要件。

---

補助上限 **50万円（補助率1/2）**

## 主な制度の早見表

制度名	対象	金額（上限）	受付期間
移住支援金	東京圏からの移住者	単身60万円 / 世帯100万円	転入後3か月～1年以内
空き家改修補助金	空き家バンク利用者	100万円	通年（予算範囲内）
子育て世帯定住支援金	18歳未満を扶養する世帯	20～50万円	転入後6か月以内
お試し滞在助成	市外在住の移住検討者	2万円	通年
創業支援補助金	移住5年以内の創業者	50万円	年2回募集（6月・11月）

※ 金額・要件・受付期間は予算の状況により変更となる場合があります。最新情報は市公式ホームページをご確認ください。

# 情報収集から移住後フォローまで、 6つのステップで進みます。

移住の検討から実際の生活開始までは、概ね6か月～18か月程度かかる方が多いです。  
市の移住相談窓口は、最初の情報収集から移住後の生活まで継続的にサポートします。

STEP  
01

## 情報収集

目安：随時

市公式ホームページ・本ガイドブックで基本情報をご確認ください。市が出展する移住相談会（ふるさと回帰支援センター主催・年8回程度）でも、職員が直接ご相談を承ります。

参考：ふるさと回帰支援センター（東京・有楽町）、千葉県移住・交流促進センター

STEP  
02

## オンライン個別相談

目安：1回 60～90分

市の移住相談員が、Web会議システムでご相談を承ります。住まい・仕事・子育てなどの希望条件をうかがい、市内のどの地区・どの制度が合うかを一緒に整理します。

受付：平日 午前9時～午後5時／予約制（市ホームページの予約フォーム、または電話）

STEP  
03

## 現地見学（半日コース）

目安：半日～1日

市内の住宅地・里山地区・学校周辺・空き家バンク登録物件をご案内します。市職員または市が委託する地域コーディネーターが同行します。土曜日のご案内も可能です。

案内コース例：中央地区（住宅地・買い物環境）、東部白峰地区（里山・古民家）、西部浜坂地区（海沿い）

STEP  
04

## お試し滞在

目安：2泊3日～28日

市のお試し滞在住宅をご利用いただき、平日の朝夕、休日の過ごし方、買い物・通勤の動線などを実際の生活の流れで体験できます。期間中、市の相談員が随時ご相談に対応します。

利用料：1泊2,000円（光熱費込）／助成あり（お試し滞在助成 上限2万円）

STEP  
05

## 住まい探し・転入手続き

目安：3～6か月

物件の最終決定・契約、引越し、市民課での転入届のお手続きを進めます。各種支援金・補助金の申請受付は、転入手続き完了後に開始できます。市が登録した不動産事業者リストもご案内します。

主な手続き：転入届、国民健康保険、児童手当、保育所入所申込、転校手続き等

STEP  
06

## 移住後フォロー

目安：継続

移住された方を対象に、年2回の交流会、ご相談窓口の継続、市内事業者とのマッチングなどを実施しています。移住後も、お困りごとがあれば移住定住推進係までお気軽にご相談ください。

参加自由のイベント：「日野原移住者の集い」（春・秋）、地域おこし協力隊報告会など

ONE-STOP SUPPORT

### すべてのステップを、ひとつの窓口で。

日野原市の移住相談は「企画政策課 移住定住推進係」が窓口です。情報収集から移住後の生活まで、担当者が継続してサポートいたします。お気軽にご連絡ください。

# 移住相談で実際に多くいただくご質問にお答えします。

移住相談窓口にこれまでお寄せいただいたご質問のうち、特に多いものを掲載しています。

個別の事情に応じた詳しいご案内は、本書末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

## Q. 日野原市での生活に、車は必要ですか。

- A. 市の中心部（中央地区・日野原駅周辺）では、徒歩・自転車での生活も可能です。一方、東部・西部の地区では、買い物・通勤・通院に自家用車をご利用いただくことが一般的です。世帯で2台所有されている方も多くいらっしゃいます。市内には路線バスが運行していますが、本数は1～2時間に1本程度のため、車があるとより便利です。

## Q. 市内の医療機関はどの程度ありますか。

- A. 市内には日野原市民総合病院（XXX床、内科・外科・小児科・産婦人科ほか）を中心に、診療所14か所、歯科診療所11か所、薬局9か所があります。専門性の高い高度医療は、近隣市の二次・三次救急医療機関との連携で対応します。夜間休日は休日急病診療所が市民総合病院内で開設されています。

## Q. 子どもの学校は、転校時にどんな準備が必要ですか。

- A. 市立小中学校は、住所地により通学区域が指定されています。転入の際は、市民課での転入届の手続きとあわせて教育委員会で就学通知を受け取り、転校先の学校に持参いただきます。前籍校での「在学証明書」「教科書給与証明書」のご準備をお願いします。中学校の部活動・受験対応など、個別のご相談も承ります。

## Q. 市内で仕事は見つかりますか。

- A. 医療・福祉、製造、建設、運輸、観光、農業など、市内には多様な業種の求人があります。ハローワーク君津管内では常時約480件（令和8年4月時点）の求人が掲載されています。一方、東京圏と比べると業種・年収帯ともに限られるため、リモートワーク継続や転職活動の事前準備をおすすめします。移住相談時に、ご希望の業種・働き方にあわせて市内事業者のご紹介も可能です。

## Q. 地域になじめるか不安です。どのような関わり方ができますか。

- A. 自治会・町内会への加入は任意ですが、防災・ごみ集積所の運営に関わるため、加入をおすすめしています。回覧板の受け渡しや清掃活動への参加から、ゆるやかに関わりを始められる方が多いです。「ほどよい距離感」を大切にする地区が多く、無理に行事に参加する必要はありません。移住者同士の交流会（年2回）もありますので、まずはそこからという方もいらっしゃいます。

## Q. 移住支援金は、いつから申請できますか。

- A. 日野原市への転入後、3か月以上が経過してから1年以内の間に申請いただけます。要件として、就業要件（千葉県のマッチング求人企業への就業、テレワーク継続、市内起業のいずれか）を満たしている必要があります。詳しくは「移住支援制度」のページ（7ページ）、または窓口にてご相談ください。

### SUPPLEMENT

#### そのほかのご質問について

公共交通・ごみ収集・上下水道・防災・税金・国民健康保険・介護保険など、生活全般に関するご質問は、本書末尾の問い合わせ先または市公式ホームページの該当ページをご確認ください。市民課の窓口（平日 午前8時30分～午後5時15分）でも、対面でのご案内を承っています。

# まずは、お気軽にご相談ください。 担当者が、ご対応いたします。

主たる相談窓口 / MAIN CONTACT

## 日野原市 企画政策課 移住定住推進係

TEL  
**0439-88-1111** (代表)  
内線 215・216 / 直通 0439-88-1145

MAIL  
**iju@city.hinohara.chiba.jp**

受付時間  
平日 午前8時30分～午後5時15分  
(土日祝日・年末年始を除く)

所在地  
〒XXX-XXXX  
千葉県日野原市 XXXXXX  
日野原市役所 本庁舎 3階

FAX  
0439-88-1199

公式ホームページ  
hinohara-city.vercel.app

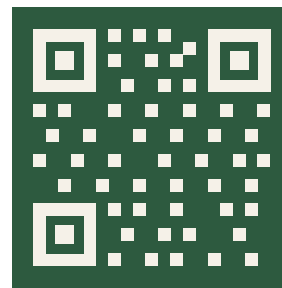
### 関連窓口

担当窓口	主な相談内容	連絡先
市民課	転入届・住民票・戸籍	0439-88-1111 (内線 121)
子ども福祉課	保育所・子ども園・子育て支援	0439-88-1111 (内線 162)
学校教育課	小中学校の転校手続き	0439-88-1111 (内線 308)
建設課 住宅係	空き家バンク・住宅情報	0439-88-1111 (内線 248)
農林水産課	新規就農・農地	0439-88-1111 (内線 261)
商工観光課	創業支援・市内事業者	0439-88-1111 (内線 273)



日野原市役所 本庁舎3階 移住相談窓口 (事前予約優先)

### オンライン相談予約



QRコードを読み取り、  
オンライン相談予約フォームへ



### 日々に、まなざしを。

日野原市は、移住を検討されている皆さまへ、丁寧にご案内することを大切にしています。本書がお役に立てば幸いです。

発行：日野原市 企画政策課 移住定住推進係 / 編集：日野原市 広報室  
発行日：令和8年6月1日 (初版)

日野原市  
市章  
HINOHARA  
CITY